

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月16日

事業所名:多機能型事業所 つばめ療育館 親子館

保護者等数(児童数)7名(7名)、回収数 6名、割合 85.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所は、児童発達支援と放課後等デイサービスで14時に交替で使用しています。それぞれ、適切なスペースの確保はできています。 ・学校の長期休業中は、活動時間が重複し、玄関、トイレ、静養室の共有であることや室温の漏れ等で支援環境に影響が生じます。このため、放課後等デイサービスに外出活動やプール活動(夏休み)を取り入れ、事故なくお互いの活動に支障が生じないように配慮しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・保健師である発達支援コンサルタントから定期的に専門的な評価を行い、併せて作業療法士、言語聴覚士、保育士の専門性を集結し、個々の課題に沿った支援を提供しています。 ・毎年、数名の指導員を発達支援コンサルタントが主催する100時間程度のハイレベルな専門研修を受講させています。これにより、医療的な基礎知識も学び、保護者等に対し家庭でもできる発達支援の根拠・手技を伝達できるライセンスを取得しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の入口は段差がなく、事業所内もバリアフリー化されています。
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	6	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングの時や保護者のお迎え時等にお伺いし、ニーズの把握に努め、放課後等デイサービス計画への反映に努めています。

適切な支援の提供	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すところは一緒であっても、利用者の年齢や能力に応じた個別支援に心がけています。 ・具体的な改善効果に着目し、たとえば、変化がみられないようなら、課題の着眼点を変更しています。 ・個々の目標を達成するためには、成功体験の積み重ねが大切です。できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。 ・学校の長期休業時には、外出活動やプール活動(夏休み)を織り交ぜて、メリハリのある支援に努めています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差はありますが、障害のない子どもとの交流については、現利用者の現況等で判断すると、必要性を感じていません。 ・社会性の前に自立力向上の課題が優先すると考えています。たとえば、スーパーに買い物に出掛けたり、散歩で公園等に出掛けたり、そこに来ている人たちと自然な形で触れ合うことができるような場面などから取り入れていければと考えております。
	⑦	運動(感覚統合)は安全面に配慮された上で楽しく活動でき、かつ身体機能が改善されたか	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な専門遊具を使用することのリスクを想定し事故防止に努めています。 ・「順番を守る」「利用者の特性に応じる未然防止体制」「遊具の出し入れによる安全スペースの確保」等、徹底して安全面を重視しています。 ・運動課題(感覚統合)は、土台となる身体を調和した後に行い、必要な感覚を獲得しやすくなる等の改善効果を高めています。実績として、改善ケースが増えてきています。 ・トランポリンだけでなく、平均台、スイング、ハンモック等感覚統合に活用する様々な遊具があります。利用者個々の特性に合わせたプログラムを組み、支援しています。

適切な支援の提供	⑧	机上課題はその子どもに見合った内容で用意され、楽しく意欲的に取り組んでいるか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の年齢や能力に応じた机上課題に心がけています。 ・具体的な改善効果に着目し、たとえば、変化がみられないようなら、課題の着眼点を変更しています。 ・個々の目標を達成するためには、成功体験の積み重ねが大切です。できるだけ固定化しないように、興味のある課題を盛り込みながら柔軟に対応しています。
	⑨	身体調和支援(マッサージ)で子どもの変化が見られているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・身体調和支援(マッサージ)により、発達の土台となる生活しやすい身体づくりを行っています。これは、運動課題(感覚統合)、個別課題の改善効果を高めることに繋がります。 ・繰り返すことで脳の発達を促し、運動機能、認知・言語機能、社会性の改善を目指していきます。
保護者への説明等	⑩	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時や利用開始の契約(更新)時に、丁寧に説明を行っています。
	⑪	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、お迎え時にお話をさせていただいたり、連絡帳、電話、メール等で利用時の状況や課題について随時連絡を取り合っています。
	⑫	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時や送迎時に、保護者からお悩みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。
	⑬	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・特に父母の会や保護者会等の開催はありません。 ・進学や卒業に備える時期等に、発達支援コンサルタント及び教育委員会指導主事の助言をもらえる意見交換会等を企画し、懇談の場を設けています。
	⑭	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対しては真摯に受け止め、速やかに事業所内で検討して対応させていただき、改善に努めています。 ・モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。 ・苦情は関係部署と協議の上、速やかに対応し、毎年、ホームページで苦情の状況について公表しています。

無回答1

保護者への説明等	⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。 ・利用者には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。
	⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月会報を発行して近々の情報をお伝えしています。 ・ホームページで活動の様子や講演会の開催等を発信しています。
	⑰	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対しては特に周知はしていませんが、マニュアルを作成し、所内に要点の掲示や閲覧ができるように設置しています。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、地震、火災に対する避難訓練を実施しています。今後も想定される災害の防災訓練を保安・防災の担当職員を中心に検討していきます。
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、楽しさを感じてご利用いただいていることは喜ばしいことです。ただし、発達支援プログラムには、自立支援力の向上を目的とする訓練的な意味合いが込められています。 ・保護者との相互理解の下で、共に「やりがい」を感じながら通所いただきたいと思います。
	㉑	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大半のご利用者から満足いただいていることは、有りがたい限りです。より満足いただくためには、子供たちの「改善」の積み重ねと認識しています。 ・学校の長期休業日には、外出先でより感覚統合の効果を狙った運動課題等を行える拠点(大曲分館)を整備しました。 ・0歳からの早期療育が主流となり、放課後等デイサービスの利用を減少させていくことが理想です。そのためにも、改善事例を積み重ね、医療・保健と発達支援事業所の真の連携に向けて発信していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。